

兵庫保険医新聞

第1689号
2012年6月15日

発行所 兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133
(会員の購読料は会費に含まれています)

作家関岡氏、田中衆議院議員、色平医師 招きシンポ

TPPは皆保険 崩壊させる

TPP参加は国民皆保険を崩壊させる。協会は6月3日、政策シンポジウム「TPPが医療を壊す」を協会会議室で開催し、115人が参加した。ノンフィクション作家の関岡英之氏、衆議院議員の田中康夫氏、JA長野厚生連佐久総合病院地域ケア医長の色平哲郎氏、協会の川西敏雄副理事長が登壇し、TPP参加が医療に与える影響を議論した。



医師・歯科医師 農業関係者、市民など115人が参加

第81回評議員会 詳報	4~5面
東日本大震災 被災地訪問記	3面
研究 保険診療のてびき	8面
下顎埋伏智歯根尖と下顎管	

春の共済制度普及 締め切り迫る!

保険医年金は 6月25日締切

3面に広告

基調講演を行った関岡氏は、日米関係が米国大企業へのロビー活動を受けた米国の思惑のままになってきたことを指摘。TPPでは米国内大企業の狙いが国民皆保険の縮小や高額民間保険市場の拡大にあり、それが実現すれば日本の医療は崩壊すると警鐘を鳴らした。

また関岡氏は、企業が国家を訴えることのできるISD条項が実際に発動した事例を紹介。国民皆保険制度を持つカナダが米投資家から訴えられることなどが



起っており、日本も例外でない実情を伝えた。田中氏は、TPP参加国の総GDPの90パーセントを日米が占めている状況を日米が占めている状況をTPPに参加しても輸出は伸びないと主張。日本の国益になることは何もない「壊国」の愚策であると痛烈に批判した。

色平氏は、地域で活動する医師の立場から、無保険者が増えつつある状況を紹介。国民皆保険制度の重要性を強調した。また、TPP参加によって薬価が上がれば医療費が削られることは事実で、看護師など医療関係者と連携していく必要があると述べた。

川西副理事長は、各パネリストの議論を踏まえ、北欧などの高福祉国家が日本よりもGDPを伸ばしていることを紹介。TPPよりも、社会保障の充実による内需の拡大をめざすべきだと主張した。

4氏が危険性訴える

協会は6月4日、野田内閣の関西電力大飯原発3・4号機の再稼働に向けた動きに対し、緊急抗議声明(全文2面)を表明した。

協会は4月12日にも同趣旨の声明を発表していたが、関西広域連合が5月31日、「暫定的」とする政府の言葉を受け入れ、再稼働を事実上容認したとの報道を受け、改めて

再稼働に断固反対 緊急抗議声明を送付(2面)

協会は6月5日、兵庫県となり建替えが課題になっているが、兵庫県はポートアイランド2期地への移転計画を決定。しかし、県が発表した津波シミュレーションでもポートアイランドは孤立する可能性があるとして、計画の撤回を求めている。

6月11日の健康福祉常任委員会で審議が行われ、県病院局が浸水のおそれはないこと、医師会も当初は賛成したなどと報告。神戸県政与党の自民、民主、公明の各会派は、県病院局の説明とほとんど同じ意見を表明し不採択を主張。野党の日本共産党は採択を主張したものの、賛成少数で不採択になった。

県立こども病院は築40年

最後に加藤一朗副理事長が「TPPが農業だけでなく、医療にも悪影響を与えることがよくわかった。広く国民に伝えていこう」と締めくくった。

当日は、兵庫協会が企画編集したパンフレット「TPPが医療を壊す」のパイロット版を参加者全員に配布した。今後、同シンポの内容や全国からの意見を取り入れ、保団連発行のパンフレットとする予定。

「撤回求める」請願 不採択に

請願は、東日本大震災、阪神・淡路大震災の経験から、沿岸地に拠点病院を集中させることは避けるべきと指摘。県医師会をはじめ、同問題を含めては、県医師会・神戸市医師会が移転反対を訴えるポスターを作成するなど、医療関係団体間で移転反対の運動がまきおこっている。

他に、県下各支部が、尼崎市・伊丹市・川西市・宝塚市・三田市の各議会に移転撤回を求める請願を提出しており、6月議会でも審議される予定となっている。

子どもたちの未来のために、制御不能な原子力に代わり、新たなエネルギー源を開発しなければならぬと全ての日本人が考えた、3月11日の東京電力福島原子力発電所の炉心溶融事故。1年が過ぎた5月5日、北海道電力泊原発を最後に、日本にある全ての原子力発電所が停止した。夏の暑さに向けてクーラーピスを用意し、スマートシテイへ向けてバッテリーに2日間の電気を貯められる自家用車が開発された。風力やバイオチップや、小川のせせらぎを利用した小規模発電や地熱発電、太陽光発電など、地産地消で電力を賄おうとする「風がささやき、森が踊り、神々が舞い降りる、そこは雲の上の楽園、梶原」高知県北西部の梶原町のような地域も現れ始めている。天然ガスはウラジオストクまでパイプラインが伸びている。液化しなくても安い値段で日本までパイプラインを延長することも可能だ。日本近海にもシェールガスの鉱床が確認されている。衛星軌道に太陽光発電所の輪を作ることも可能だ。日本の出番だ。かつてのように太陽光発電所で世界をリードしよう。原子力発電所の解体には何十年もかかる。地域の雇用は守られる。原発交付金は名称を変えて放射性物質保管交付金として継続すれば地域経済は成り立つ。関西電力大飯原発が事故を起こせば近畿の水がめ琵琶湖が汚染され取り返しがつかない。未来を担う子どもたちのために全ての原子力発電所は廃炉しよう(水)

兵庫県保険医協会 **第44回総会**

日時 6月17日(日) 13時30分～

会場 チサンホテル神戸(「高速神戸」駅 直結 徒歩1分、JR神戸駅から徒歩3分)

記念講演 15時30分～

カプセル内視鏡の有用性と今後の展望

講師 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター助教 **細江 直樹** 先生

懇親会 17時30分～(参加費不要)

お問い合わせは、☎078-393-1801 協会事務局まで

燭心

子どもたちの未来のために、制御不能な原子力に代わり、新たなエネルギー源を開発しなければならぬと全ての日本人が考えた、3月11日の東京電力福島原子力発電所の炉心溶融事故。1年が過ぎた5月5日、北海道電力泊原発を最後に、日本にある全ての原子力発電所が停止した。夏の暑さに向けてクーラーピスを用意し、スマートシテイへ向けてバッテリーに2日間の電気を貯められる自家用車が開発された。風力やバイオチップや、小川のせせらぎを利用した小規模発電や地熱発電、太陽光発電など、地産地消で電力を賄おうとする「風がささやき、森が踊り、神々が舞い降りる、そこは雲の上の楽園、梶原」高知県北西部の梶原町のような地域も現れ始めている。天然ガスはウラジオストクまでパイプラインが伸びている。液化しなくても安い値段で日本までパイプラインを延長することも可能だ。日本近海にもシェールガスの鉱床が確認されている。衛星軌道に太陽光発電所の輪を作ることも可能だ。日本の出番だ。かつてのように太陽光発電所で世界をリードしよう。原子力発電所の解体には何十年もかかる。地域の雇用は守られる。原発交付金は名称を変えて放射性物質保管交付金として継続すれば地域経済は成り立つ。関西電力大飯原発が事故を起こせば近畿の水がめ琵琶湖が汚染され取り返しがつかない。未来を担う子どもたちのために全ての原子力発電所は廃炉しよう(水)

第31回在宅医療研究会

感想文 人材で選ばれる かかりつけ薬局に

協会地域医療部は5月12日、第31回在宅医療研究会... 最初にハザマ薬局の祝詞を「地域連携と『薬局3・0』～在宅医療における次世代型保険薬局の役割～」をテーマに開催し、44人が参加した。参加者の感想文を紹介する。



在宅への薬剤師の関わり方を考えた

さらにバイタルサインやフィジカルアセスメントへの取り組みについても報告があり、かかりつけ薬局のあり方を暗示しつつ、クライアントと深い信頼関係を築いている姿に、会場から驚きの声が上がりました。

もくろむ厚生労働省の「薬剤選択/投与量/投与方法/投与期間等について医師に積極的な提案したり、在宅を含む薬物療法を受けている患者に対し薬学的管理を行うことは非常に有益」という見解(医政発0430第1号)にも言及されました。

その上で、薬学診断と薬学的治療計画のためにバイタルサインやフィジカルアセスメントスキルを身に付け、従来の立地で選ばれる単機能型調剤薬局から薬剤師という人材で選ばれる多機能型コミュニケーションファーマシーに進化しなければ生き残れないし、やりがいもなくなるのでは?と問題提起されました。

将来を見据えた力強い提言に大いに心動かされた講演会でした。

環境・公害対策部視察会

感想文 自然の島に巨大ダム 必要性どこに

環境・公害対策部は5月27日、視察会を開催し、必要性が疑問視されながらも建設が進む香川県・小豆島の新内海(うちのみ)ダムを視察し、自然豊かな寒霞渓を散策した。8人が参加した。感想文を紹介する。



建設が進む新内海ダム(山中先生撮影)

「小豆島巨大ダム建設現場・公害対策部の視察会に場見学と寒霞渓散策」の環 参加した。森岡芳雄先生、山中忍先生、永本浩先生、宗実琴子先生、林祐介と事務局2人が参加した。

山中忍先生、永本浩先生、宗実琴子先生、林祐介と事務局2人が参加した。姫路港から小豆島福田港までフェリーで行き、グリン山で昼食を済ませ、ダム建設現場の見学所まで移動した。建設が進む新内海ダム(447メートル)の巨

大な堰堤のダム)が見えてきた。住民の80パーセントが同意したというが直下住民の75・7パーセントが認めていない。どうみても、こんな巨大なダムをここに建設する必要性が見えてこない。

案内してくださった寒霞渓の自然を守る会会長の山西克明氏および事務局佐伯氏は「小さい頃は川に鮎がいたし、ホタルもいた。ダムの建設が始まりすっかり見なくなった」となげいておられた。

その後、寒霞渓山頂までロープウェイで行き、徒歩で下山した。その途中たくさん野生のサルにであつた。また見上げると奇岩があちこちで見られた。寒霞渓の森にこれだけ多くの野生のサルが生息しているのを見てこの森の豊かさを実感できた。

大飯原発の再稼働に断固反対する

一関西広域連合の再稼働容認は、国民に対する裏切り一

兵庫県保険医協会理事長 池内 春樹

関西電力大飯原発3・4号機の再稼働に対して関西広域連合は、「暫定」との政府の言質を受け入れ、事実上の容認に転じ、野田政権は再稼働を決定しようとしている。

しかし、福島第一原発事故原因の究明・検証は進んでおらず、中身の無い「安全宣言」をふりかざして暴走する野田内閣の実態は何一つ解決していない。関西広域連合の転換は、国民に対する裏切りである。

野田内閣が急ぐべきことは、民主的な規制庁の発足であるにもかかわらず、設置関連法案は国会審議が始まったばかりである。

電力の供給不足を理由に、経済界は再稼働を求めているが、本当に電力不足になるのかについても十分な検証がされておらず、関西電力の主張を丸のみしているだけでは、到底、国民の納得は得られない。

一旦、稼働すれば、それはただちに放射性廃棄物を大量に作り出すことになる。大飯原発で万が一原発事故が起こった場合、近畿の水がめ・琵琶湖が汚染されるなど、兵庫県へも深刻な影響が及ぶことは明らかである。経済活動は大事だが、命の安全保障に代わりうるものではない。

やるべきことをやらないまま、新たな「安全神話」を押し付ける大飯原発の再稼働は断じて認められない。われわれは、いのちと健康をまもる医療者として、関西電力大飯原発3・4号機を再稼働しないことを断固として要求するものである。

理事会 スポット

- ◇出席 24人
◇情勢 ①野田内閣は、今国会に提出するとしていた「後期高齢者医療制度見直し法案」の提出を先送りする方針。法案の内容は70歳以上の窓口負担を2割にするなど現在の1割(臨時的措置)を後退させるもの。
◇総務部 事務局夏季休務8月13日(月)～15日(水)の3日間を了承。
◇県社保協 役員改選案(会長:吉岡正雄副理事長(留)、事務局次長:(事務局)角屋・岡本(留)、高山(新))を了承。
◇組織部 規定に基づき、2会員の会費免除を承認。
◇その他 高山事務局員の退職に伴い、池内理事長から40年超勤続の労をねぎらい花束が贈呈された。
◇東日本大震災救援対策 被災地コンサートを7月14日～16日に実施する。8月(5月26日 理事会より)

Insurance doctor's network advertisement for M&D Insurance Doctor Network. Includes text about joint purchasing of medical supplies and contact information: 06-6568-7159.

Real estate advertisement for a hospital building. Includes details about the building size (326 sqm), location (Nishiku, Hyogo), and contact information for Mr. Shigenori Shirai.

東日本大震災から1年

被災地 訪問記

2011年3月11日の東日本大震災から1年となる3月20日、21日に、広川恵一協会理事、薬剤師の長光由紀氏、板倉弘明氏、看護師の廣川秋子氏が、岩手・宮城・福島3県を訪問した。長光氏と廣川氏のレポートを掲載する。
(写真はすべて長光氏撮影)

医療者として できることを考えた

伊丹市・薬剤師 長光 由紀

震災直後から兵庫協会の活動として被災地にかかわってこられた広川恵一医師の個人的な被災地訪問に同行した。
雪の積もる花巻空港から三陸海岸へ。22メートルもの高さの津波が押し寄せた大槌町で、昨年日常診療経験交流会の講師として、神戸へ招いた植田俊郎先生の仮設診療所を訪問。横には仮設薬局も建てていた。こ



津波の跡が痛々しい介護施設「ヨッシーランド」。入所者36人が亡くなり、看護師1人が行方不明のままだ

れからこの小槌地区が先生方の地域医療の拠点となるようだ。
線路が錆びた三陸鉄道をしながら陸前高田市へ。被災した県立高田病院、職員寮も4階まで津波に襲われ、その跡がくっきりと見えた。
ようやく病棟も稼働し始めた仮設の県立高田病院へ。コンパクトながら診察室が並び、薬局へのFAX

直接足を運ぶということに、これまで築かれてきた、震災で絶たれるものではない強い結びつきを感じた。一方で、原発から30キロメートルという地点で復職を呼びかけること自体に、当初大きな葛藤があったことも強く感じる。
大町病院は現在、常勤の看護師だけでなく、短時間勤務・短日勤務の看護師も積極的に受け入れている。そこからは切実な看護師不足とともに、病院側の柔軟な受け入れの姿がわかる。

20日は、震災時より広野町等の多くの被災者が避難所としていた福島県いわて湯本温泉「新つた」に宿泊。この玄関ホールは福島、兵庫両協会が協力して健康相談や劉揚(りゅう・やん)さんの二胡コンサートを開き、被災者に楽しんでもらった縁があった。
泉質の変化や建物被害もあつたが、風評被害が甚大で湯本温泉の宿泊客は原発工事関係者のみとなつていった。そんな中、訪問直前(3月17日)に唯一旅館として一般客の受け入れを「新つた」は再開された。他のホテル・旅館がまだ一

般客の受け入れができていないことを、女将さんは一番つらく思われているそうだった。
翌21日、原発事故の警戒区域にかかるため、本来30分ほどの距離を東北高速道路経由で大きく迂回し、全村避難中の飯館村を通り、3時間近くかけて南相馬市へ。到着した大町病院で、猪又義光院長と藤原珠世看護部長から震災時の病院の様子、その後のボランティアの活躍等紹介していただ

いた。
震災翌月に業務再開を猪又院長が決断された時、全ての物資流通が滞った状況だった。患者への薬提供に、以前より連携中の地域薬剤師と協議し、医薬品確保と卸業者の流通も考え、7日分ずつ処方箋を発行することで再開された。大変なこともあったが地域全体の薬局薬剤師と交流が深まり、現在も地域住民に支えられ種々行事を開催されている。
その後、津波で入所者36人が亡くなり看護師1人が行方不明の介護施設「ヨッシーランド」を訪ねた。生死の境目はこと示せる、白壁に残った津波の跡が痛々しかった。
21日午後「相馬野馬追」祭りでの有名な国道を仙台へ。立ち寄った店では地元産牛乳使用で人気だったアイスクリームが、「北海道産牛乳使用」と掲げないと売れないと嘆かれた。放射線の数値が下がっても、原

発事故による地元の方々の苦しみは癒えない。
途中、盛り土の上に作られた自動車道の右と左では全く違う世界が広がる。海側は津波に襲われ水浸しの地域、山側はのどかな田園風景。偶然自動車道が防波堤となった。
仙台空港近くで車返却時、スタッフが呟いた。「自然はすごい! 潮水に浸かったのに仙台空港の周りに今年も草が生えてくる」地球上では短い人類の歴史、もっと長く生き抜いてきた植物にはかなわない。
駆け足での被災地訪問だったが、医療者として多くの方々と手を取り、もっと弱い立場の方々の手を差しのべなければならぬと感じた。
最後にこの機会を与えてくださった広川先生、全行程を運転してくださった板倉先生、ずっと一緒にいてくださった廣川秋子さん、ありがとうございます。

看護師の役割 考える機会に

西宮市・広川内科クリニック
看護師 廣川 秋子

3月21日、福島県南相馬市の大町病院を訪れた。大町病院は、昨年に起こった東日本大震災と原発事故で一時活動停止を余儀なくされるも、同年4月4日いち早く診療を再開した病院である。
猪又義光院長、藤原珠世看護部長から「復興への軌跡」というテーマで震災後1年の経過を聞かせていただいた。

大町病院はもとも118床であったが、12年3月現在、稼働しているのは3分の1の60床ほどである。その理由の一つに看護師不足がある。震災、原発事故で不本意にも現地を離れなければならなかったスタッフも多々いる。
病院再稼働後、看護部長はそういった看護師たちの遠方の転居先を訪問し復職を呼びかけた。看護部長が

直接足を運ぶということに、これまで築かれてきた、震災で絶たれるものではない強い結びつきを感じた。一方で、原発から30キロメートルという地点で復職を呼びかけること自体に、当初大きな葛藤があったことも強く感じる。
大町病院は現在、常勤の看護師だけでなく、短時間勤務・短日勤務の看護師も積極的に受け入れている。そこからは切実な看護師不足とともに、病院側の柔軟な受け入れの姿がわかる。

震災直後から医療関係者、地域住民、ボランティアなど多くの人が出入りするところを感じられた。また、その経験や呼びかけが



原発から30kmに位置する大町病院

あちこちで情報発信され、応援の輪が広がっていき様子も伝わってきた。
関連福祉施設の損壊と利用者・職員の犠牲があり、情報が錯綜する中で、患者移送の手配や関連施設への応援要請、病院再開への決断など、院長が先頭に立って現場を指揮された。

即決即断で物事をすすめなければならぬ中で、院長が診療再開の意義を強く訴え、方針を打ち出すこと

が、多数の人間を結び付け同じ方向に導くもとなっていたように感じる。そのリーダーシップが病院機能の回復という大きな目標の中で、スタッフを孤立させずにそれぞれに役割と責任を与えることになったと思う。それは現場の看護師にとって周辺の状況が変化しても目の前の出来事に集中して取り組むための土台となったと思う。

震災でこれまでの生活や仕組みが破綻した状況の下で、いのちと暮らしを最優先に奮闘した大町病院は地域の病院として、そのあり方を示した。看護師は混乱の中で試行錯誤しながら目の前の課題に取り組み、そ

大町病院は、実践を通して看護師が得てきた知恵や経験が生かされてきた現場であり、その中での看護の力強さ・創造性を実感した。その体験を伝えていくことは、看護師の役割の一つである。病院を動かす力となっている院長・看護部長はじめスタッフの方々の中に職業意識と倫理観を学ばせていただいた。
このたび貴重な時間をいただき震災1年の軌跡を聞かせてくださった猪又院長、藤原看護部長に感謝いたします。

医師・歯科医師の老後設計に最適です

(拠出型企業年金保険)

保険医年金 6/25 締切

- ・月 払: 1口1万円～ (通算30口まで)
- ・一時 払: 1口50万円～ (毎回40口まで)

自在性が
魅力!

- ・急な出費にも1口単位で解約可能
- ・払込が困難なときは掛金中断、余裕ができたなら掛金再開

預貯金等の満期になった資金は「一時払」をご利用ください。

万一のためのコストは安さが魅力です!

(団体定期生命保険)

グループ保険

■ 毎年高配当を継続

2011年度は**63%**、2010年度は**42%**

- 団体保険だから断然安い保険料
- 最高5000万円の高額保障
- 配偶者1000万円のセット加入あり
- ライフプランに合わせていつでも増額・減額可
- 医師による診査はありません



病気やケガによる休業に備えて。自宅療養も補償されます

所得補償保険

うつ病、認知症による就業不能や、地震等の天災によるケガも/入院は1日目、自宅療養は5日目から/再発も含めて通算1000日まで補償
ご家族、ご兄弟、従業員にもお勧めください

医師賠償責任保険

・医療上の事故、医療施設の事故を補償

春の共済制度普及 締め切り迫る! お問い合わせは共済部まで ☎ 078-393-1805

第81回評議員会 詳報

「一体改革」阻止し、社会保障の拡充へ

協会が、5月20日に開催した第81回評議員会での理事長あいさつ、発言、執行部答弁の要旨を掲載する(7面に決議全文)。

あいさつ

一人ひとりが

行動起こそう

理事長 池内 春樹



今日は長年心待ちにしてきた益川敏英先生のお話がお聞きできる。素粒子の世界と宇宙に思いをはせた。

本日、一番うれしいことは協会の会員数が7千人を突破したこと。先生方の声かけによるおかげだ。いっそう入会のお声かけをお願いしたい。

発言

研究会17回

震災支援も



西宮・芦屋支部 谷端美香評議員代理

西宮・芦屋支部は、昨年度に引き続き、東日本大震災への支援活動として、被災地へ数度にわたる訪問を行い、現地の医師と懇談を行ったほか、ラジオ関西番組でも被災地の現状について話題提供し、阪神・淡路

大震災の記憶と経験を語り継ぐ書籍の普及も行った。7月21日には、チェルノブイリ原発事故で被曝した経験を持つ、歌手でウクライナの民族楽器バンドウーラ奏者のナターシャ・グジーさんを招き、支部総会記念コンサートを開催する。ぜひ参加いただきたい。

今年度は、新たな取り組みも行い、支部研究会・懇談会は17回、支部交流企画は3回開催した。設立から30年を迎え、来年度も交流を深めたいながら、会員・メディカルスタッフの方の多様な要求に応えた企画や

は、緊縮財政を優先し大企業・富裕層への減税による景気刺激策を訴えたサルコジ大統領を、大企業や富裕層への増税による雇用拡大を訴えたオランド候補が打ち破った。保守長期政権から社会党大統領への交代だ。「国民の生活が第一」を訴えた民主党は、鳩山・菅政権が早々と潰され、今後は小泉政権のように米国ベッタリの野田政権になっていく。

大企業と富裕層のための「税と社会保障の一体改革」を弱者のための一体改革にし、米国独り勝ちのTPP参加よりも日中韓の経済協力関係を深め、消費税増税よりも大企業・富裕層への増税や企業の役割とは何かを問い直そう。

復帰後40年になる沖縄に思いをいたし、日米安保を問い直し、いまだに収束できない福島原発事故を総括し、がれきの処置もま

まならない東日本大震災の支援を続けよう。兵庫県の民生費と教育費の予算割合は、大阪府と並んで全国最低だ。県立病院や県立高校、保健所の統廃合が進み、大阪市では西成区で生活保護の切り捨てを特区と称して実行しようとしている。全国に波及するのが心配だ。

県立こども病院のポर्टアイランド移転も正念場だ。来年は県知事選挙の年。「県民の健康と安全な生活の場を保全する」知事を今度こそ出現させよう。少子高齢の今こそ、全ての人がやさしい、緑あふれるふるさとをどう作っていくのか、みんなで大いに議論し、一人ひとりが行動を起こそう。われわれの武器は署名と投票権だ。その考えの基礎となるのは世界一すばらしい日本国憲法だ。協力をお願いしたい。

多彩な催し

幹事会で企画



北阪神支部 金川清人評議員

北阪神支部は、毎月幹事会を開催し、研究会などを企画している。

1月の新春政策研究会では、伊丹市の自衛隊阪神病院院長の森崎善久先生に「自衛隊阪神病院・地域医療への役割」をテーマに講演いただいた。自衛隊員とその家族のみを対象にしていたが、地域住民に門戸を

開くようになった経緯などをお聞きした。新点検研究会には医科・歯科それぞれ多数の参加があり、患者負担軽減を求める請願署名が60筆集まった。接遇研修会も大変好評を得た。

5月は文化企画として、丹波焼の陶芸体験教室を初の試みで開催する。

支部40周年を迎え、地域医療に貢献

尼崎支部では、医療・介護事業者向けの「医療と福

放射能汚染考える



北摂・丹波支部 中西透評議員

北摂・丹波支部では、毎年、市民対象の映画会と学習会を8月に開催している。6回目の今年は「親子で語ろう未来」をテーマに、初代「ゴジラ」の上映と「放射能汚染」についての学習会を企画している。福島県では今なお、放射能被害に対し、住民が不安な生活を送っている。風評被害も含めて生産者には二重、三重の被害をもたらしている。

学習会では、環境・公害対策部の森岡部長に講演していただく。初代ゴジラの映画は、35ミリフィルムで、アメリカのヒキニ環境で行われた水爆実験によって第五福竜丸が被ばくした1954年に公開された。モノクロだが、ゴジラが水爆実験によって目覚め地上に出現するというものだ。

多くの市民に戦争の悲惨さと核の脅威、平和と自然環境の大切さを考えてもらいたい。

協会が、5月20日に開催した第81回評議員会での理事長あいさつ、発言、執行部答弁の要旨を掲載する(7面に決議全文)。

若い役員加わり 活発に活動



北播支部 桂正剛評議員

北播支部は、毎月の世話を軸に活動している。世話人は10人前後の参加で活発に情勢の問題や支部企画について議論している。

最近では、4月に医療安全管理研修会を開催し5人が参加した。当院からも職員が参加し、「実地に役立つ研究会だった」との感想が出されていた。秋にも工夫しながら開催する予定だ。支部総会は、突合縦覧点検の現状をテーマに記念講演を行う。

今後とも会員の関心と要求に応える活動をしていきたい。世話人も、若い世話人が入ってほしいと思っている。

消費増税中止 国会へ訴えよう



姫路・西播支部 正木茂博理事

4月12日、東京・日比谷野外音楽堂で行われた「消費税増税ストップ! 国民集会」に参加した。政府が消費税増税法案の月内審議入りをめざす緊迫した情勢のなか、全国から5千人が集まった。

吉岡正雄副理事長が医療分野の代表として、医療機関の損益問題について、明解に訴えた。その後、国会までデモ行進もした。国会では、「税・社会保障

負担軽減を求めた署名引き受けなどを求め、地元議員への要請行動も行った。日本経済はデフレから脱却していない。消費税を上げればますますデフレが進み、税収が減ることは歴史が証明している。マスコミは増税を煽り、民主党の一部と共産党や社民党以外の政党は、消費税増税を訴えている。国会行動で、国会議員を動かすことが大事だ。

私は現在、淡路市の津名病院で院長をしている。ここ数年、当院勤務医を対象に協会の説明会を開催し、私からも直接案内を行い、何人かの先生に入会していただいた。

協会では、「税・社会保障

こども病院移転は幅広い運動で中止に



政策部・明石支部 西山裕康理事

こども病院移転先のポर्टアイランドは、県自身が発表した津波シミュレーションで孤立する可能性が判明した。そもそも分散化こそがリスク管理の基本だ。沿岸地に拠点病院を二極集中し、子どもや母親を危険にさらすこの計画は、世間の常識に反し、震災の経験が全く生かされず、説得力のある移転理由もない。「県総合事業等審査委員会」に医療関係者を含まず、地域医療再生計画においても医療関係者の意見を聞かず、民主的手続きを無

(5面に続く)

(4面からの続き)

視している。計画は、基本構想から一始めに立地場所ありきの悪習に沿った方針だ。

明石支部では3月に市と懇談を行ったが、口頭で意見を表明するという回答にとどまった。しかし、医師会は反対を表明しており賛成する団体はない。医療関係者や患者さんだけでなく、全県民を巻き込んだ運動とすれば移転はストップ可能だ。

IPPNW大会 広島に参加しよう



反核平和運動部
口分田勝理事

今年8月、IPPNW (核戦争防止国際医師会議) 世界大会が23年ぶりに広島で開催される。協会は毎回、反核医師の会とともに有志の募金を募り、大会に代表を派遣してきた。今、世界で核兵器の廃絶を求める動きが大きく広がっている。様々な市民団体が、核保有国をはじめ各国政府に核兵器禁止の交渉開始を求めて行動している。昨年12月には国連総会で核兵器禁止条約の交渉開始を求める決議が130の国々の賛成で採択された。国連の潘基文事務総長も「核兵器のない世界」を実現しようと呼びかけている。この流れをさらに加速させ、核兵器禁止条約を一刻も早く締結させるため、人々の生命を守り、健康を保つ医師としてIPPNW世界大会に参加しよう。

米韓FTAの実態 韓国から学んだ



神戸支部
藤末 衛 評議員

TPPについて、4月に韓国の「健康権実現のための保健医療団体連合」政策室長のウ・ソッキョン先生が来日され、懇談した。韓国では、米韓FTAが2006年に提案され、昨年批准された。当初は3割の反対だったが、運動により08年には7割まで反対に広がったものの、押し切られ、様々な問題が出てきている。薬価が高騰し、特区だけに認められたはずの営利病院が、特区を越えて活動している。

FTAに関する資料は300ページもあり、アメリカ独特の特許用語や経済用語が使われ、何を言っているのか分からない。そこで専門家を立ち上げ、分かったことを若い人に分かるスローガンにして運動が進んだという。そうした中で、ソウルでは市民運動派の市長が誕生した。次は条約そのものを考え直す運動をしているという話だった。韓国の経験に学ぶ必要がある。生活を脅かすTPP なぜ突き進むのか



政策部
川西敏雄 副理事長

米韓FTAとTPPに関

し、韓国政府と日本政府が共通するのは、国民に十分説明していないことだ。違いは、日本は国会審議前に協会や保団連が問題点を勉強し知らせていることだ。経済産業省は、TPP参加の経済効果を10年間で2・7兆円と試算している。年収500万円の家庭に例えれば経済効果は2700円程度という話だ。仮に試算が正しいとしても、その代償に、WHOが「健康達成度」1位と評価した優れた医療制度や、協会・保団連も含む各種の共済制度、ただでさえ低い食料自給率などを失えば、損失はその数十倍にも及ぶだろう。兵庫協会の企画編集で保団連作成のパンフレットを企画している。ぜひ活用いただきたい。TPP参加は、国民が営々として積み上げた有形無形の財産を台なしにする。声を大にして反対を訴えなければならぬ。

起ると琵琶湖・淀川水系が汚染され、兵庫県へも深刻な影響が及ぶ。再稼働は断じて認められない。原発ゼロのエネルギー政策への転換を強力に求める。また、姫路市夢前町では地元住民の合意を得ないまま、国内最大級の安定型産業廃棄物処分場が建設されようとしている。有害物質の流出による環境汚染が懸念され、地元住民が反対署名を開始した。協会にも支援をお願いしたい。

第21回日常診に 参加と演題提供を



研究部
清水映二 理事

第21回日常診療経験交流会は、「五感、六感、ふれあう医療」をテーマに開催する。例年は農業会館で行っていたが、今年はJR神戸駅南の産業振興センターで行う。医科歯科薬科交流企画は「抗凝固剤の最近の知見」をテーマに行う。抗凝固剤が新しく二つ出てくる予定もあり、いろいろな観点から企画をしている。心肺蘇生の実技講習会も予定している。実技講習会ではプレ企画でも実施する予定だ。分科会の発表もお願いしたい。特別企画としては、「今さら聞けない」コーナーを予定している。内科から耳鼻科とか、歯科から薬科へ、ちょっと聞いてみたいことを聞けるコーナーにしたい。事前にお寄せいただき、当日回答するようにしたい。

保険で良い歯科 運動広げよう



歯科部
富澤洪基 評議員

協会は、私も所属する県民医連とともに「保険でよい良い歯科医療を」兵庫連絡会を結成し、3年目になる。連絡会は、国民の口腔の健康を守るため、歯科医療関係者と患者・住民との協同のネットワークとして、街頭署名宣伝行動や歯科医療の学習会などを続けている。

7月1日には、市民講座を開催する。「歯を大切に」して「健康が花咲いた町」『8020』運動発祥の地、兵庫県・南光町の経典から」と題し、元南光町長の山田兼三さんにご講演いただく。また、恒例の街頭署名宣伝行動も行う。全国的な発信としても、歯科政策パンフ『命を守る歯科へ 健康長寿社会に向けて』(仮)を近日発刊するので活用いただきたい。

の電磁波による脳腫瘍発症の可能性を認め、電磁波の危険性は今や全国民に及ぶといっても過言ではない。見解が出るまでは政府や企業は「安全」だと言ってきたが、最近では沈黙している。行政、大企業の立場からは、電磁波の危険性を認めたくない気持ちは分かるが、危険性を国民に警告するという動きはない。協会としても国民に警告して、対策を練ってほしい。

そのほか、平衡感覚障害や発がん性、電磁波過敏症などが出る可能性がある。こちらはまた科学的根拠がないが、根拠が出たときにはすでに被害が広がっている。根拠が出る前に手を打たないといけない。電磁波問題を扱っている医師を招いて講演会をするなどすべきだ。

健康に被害与える 携帯電話の電磁波 最近、WHOが携帯電話

い。用意をがんばって発表する発表者の立場も考えて、参加者が増えるよう努力いただきたい。

薬価差額なしで 経営が危機に



北阪神支部
中井 通治 理事

薬の値段について、厚労省は薬価II納入価とどうも差額がないが、今は10万円の薬を買っても差額は3千円しかない。シネリックも20%引きが当たり前。院外処方になっていると私のような矛盾もないかもしれない。やがて院外処方箋も紙切れになるかもしれない。今の診療報酬で差額が発生しないことは問題だ。医師会も協会もなぜ取り上げないのか。

特色ある支部活動 協会の魅力に 西宮・芦屋支部は、日常的に大きな運動をされている。特に震災では広川理事を中心に精力的に活動しておられる。 尼崎支部では、大気汚染、アスベストの問題もあり、県立尼崎・塚口病院の統廃合問題はまだまだ解決していない。自民党時代の公立病院ガイドラインが民主党になってもまだ続いており、運動をつづけていくことが大事だ。 北摂・丹波支部で、初代ゴツラの映画会をするの

こと。原子力開発とゴツラの関係の深さをあらためて知った。 淡路支部で、病院勤務の若いドクターに入会を勧めたい。窓口負担など、若い勤務医の先生にとってはわかりにくい問題を勉強してもらおう機会としても活用していただきたい。ご指摘の通り、開業医からの紹介が有効なので、ぜひお願いしたい。

薬価と仕入れ税額の問題について、吉岡正雄先生が東京の集会で発言した。私も財務省交渉に参加してきた。統計データでは明らかに医療機関の損税になっている。これを診療報酬に上乗せすることは、非課税に反する。ゼロ税率の導入を主張している。納入価を乗価にして差額をなくしているとの意見については、診療報酬改定の要求の中で議論していきたい。

多様な共同で 大きな運動を 原発再稼働について、山田先生の指摘はその通りだ。兵庫県は原発から100キロ圏内にあり、事故になれば、深刻な事態が予想される。世論が大きく変わっている。県医師会などによるフォーラムが開催され、郷土副理事長が講演した。決議案にも、再稼働反対を盛り込んでいる。 清水先生からの日常診の成功に向けては、重ねて協力をお願いしたい。 富澤先生の、保険でよい良い歯科医療についての運動は3年になり、着実に広がっている。大きな運動にしていきたい。

執行部答弁

特色ある支部活動 協会の魅力に



武村 義人
副理事長

支部の活動では、さまざまな取り組みがなされており貴重だ。協会は支部活動が基本。役員若返りも含め、活発な活動を期待したい。 北阪神支部で、自衛隊阪神病院が地域医療に参加することで研究会をもたれた

対運動を続けていきたい。 口分田先生からご意見いただいたように、反核医師の会と共同していきたい。

藤末先生、川西先生ご指摘のTPPについては、国民皆保険制度が崩壊するのではないかとということで反対運動を進めている。先日、JAの方とも懇談し、医師の反対は「心強い」と言われた。医療を守る立場で広範な国民と共同していきたい。6月にはシンポを開き、パンフレットの作成も予定している。

TPPのシンポは、政策部でも推進派を呼びたいと企画したが、残念ながら実現しなかった。推進派の論点を我々側からあげて、運営したい。ぜひご参加いただきたい。 原発再稼働について、山田先生の指摘はその通りだ。兵庫県は原発から100キロ圏内にあり、事故になれば、深刻な事態が予想される。世論が大きく変わっている。県医師会などによるフォーラムが開催され、郷土副理事長が講演した。決議案にも、再稼働反対を盛り込んでいる。 清水先生からの日常診の成功に向けては、重ねて協力をお願いしたい。 富澤先生の、保険でよい良い歯科医療についての運動は3年になり、着実に広がっている。大きな運動にしていきたい。

神戸支部 職員接遇研修会

感想文 患者の立場にたつ 接遇を

神戸支部は4月21日、職員接遇研修会「患者をモンスターにしない接遇」を協会会議室で開催し、108人が参加した。油谷純子自白大学短期大学部生活科学科教授が講師を務めた。参加者の感想文を紹介する。



まずは基本のあいさつから

をかかえて来院されることでしょうか。足を一歩踏み入れた時の第一印象が、患者さんに安心感を与えることができるかどうかの決め手であり、今後の患者・医師関係にも大きく影響すると考えていたため、このたびの研修は大変参考になりました。元氣なあいさつ、丁寧な言葉遣い、適切な電話対応、相手の立場にたつて行動することの大切さを学ぶことができました。

私たちが医療関係者は、特に接遇が大切ですが、他の企業様とは異なり、恥ずかしがらうまできちりと学ぶ機会がありませんでした。接遇は医師のみならず、看護師、受付スタッフ皆にとつ

このたび接遇研修会に参加させていただきました。特に初めて来院された患者様は、大きな不安や心配

神戸市長田区で4月から継承開業することとなり、

薬科部バスツアー

感想文 地球温暖化の影響は漢方にも

薬科部は5月13日、バスツアー「京都薬用植物園見学と哲学の道散策」を開催し、医師・薬剤師ら43人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

京都薬用植物園は京都市の北東部、比叡山の麓にあ



生薬の詳しい説明を受けた

園内はたった6人で管理されているとは思えないほどきれいに整備されており、職員の方々の日々の努力の賜物と思えました。これはムラサキや桔梗などの絶滅危惧種の保全、薬用植物の栽培研究だけでなく近隣の学校の子どもたちへの環境教育など、幅広い活動を行っておられるところが、感銘を受けました。

案内してくださった職員の方の説明も分かりやすく、特に漢方処方園では代表的な処方ごとに構成植物を植えてあり、見学者に分かりやすいようにとの心配りを感じました。ダイオウは高地に自生する植物で、武田薬品で品種改良されたシンシユウダイオウ(武田漢方便秘薬の構成生薬)は地球温暖化の影響で信州でも栽培が難しく

感想文 姫路・西播支部 職員接遇研修会

マニユアル化されない 真の「接遇」

姫路・西播支部は5月19日、職員接遇研修会「接遇の基本とクレーム対応」を姫路商工会議所で開催し、81人が参加した。油谷純子自白大学短期大学部生活科学科教授が講師を務めた。参加者の感想文を紹介する。

5月19日、土曜日の午後、姫路市内での接遇研修会に参加させていただきました。わが医院は私とスタッフ計3人で接遇を学ばせていただきました。医療現場の競争激化のなかサービスの向上に努力されているのか、多くの女性スタッフの方が本当に熱心に先生の講演を聴いてお



油谷先生が接遇の基本を解説

今回の学習を明日からの臨床および日常の社会生活にも役立たせていきたいです。どうぞ先生方も、スタッフのみではなく、ご自身で参加されてみてはいかがでしょうか。 よ。

【姫路市・歯科 松下 元臣】

て最も大切なことであり、次回はずいぶんスタッフ全員で参加したいと考えております。

【長田区 松井 可奈】

られる姿が印象的でした。ともすればマニユアル化されたものの上っ面だけで実践しがちな日常の医療現場において、「接遇たるもの何ぞや」。その意味を知った上で実際に表現できるようになることで、真のサービスが提供できるのではないのでしょうか。

今回の油谷先生のご講演は、その意味において大変有意義なものでありました。楽しい講義内容であり、あっといふ間の2時間でした。

初心者のための 保険請求事務講習会(医科)

- [神戸会場①] 日時 7月14日(土)~15日(日) 会場 協会会議室 (JR・阪神「元町駅東口」から南へ徒歩7分)
[姫路会場] 日時 8月4日(土)~5日(日) 会場 姫路商工会議所201研修室 (JR「姫路駅」から北東へ徒歩20分)
[西宮会場] 日時 9月1日(土)~2日(日) 会場 西宮市民会館301号室 (阪神「西宮駅」下車、北へ徒歩1分)
[神戸会場②] 日時 9月8日(土)~9日(日) 会場 協会会議室 (JR・阪神「元町駅東口」から南へ徒歩7分)

- ◆プログラム <1日目 14時30分~17時30分 ※姫路会場のみ15時~18時> 保険診療とは/窓口業務/薬剤点数計算 など <2日目 10時~15時> 診療報酬請求の実務/レセプト作成実習 (外来分のみ)
◆定員 各会場80人予定 (定員になり次第締め切り)
◆参加費 8000円 (資料代・2日目昼食代含む)
◆2日間とも参加された方には「修了証」を発行します。

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1803 まで

明石支部 会員懇談会

プロにきく 雇用管理のテクニック

明石支部は4月21日、西明石ホテルキャッスルプラザで会員懇談会「失敗しない採用のポイントと退職時のトラブル解決策」を開催。講師に桂芳務社会保険総合事務所所長で月刊保団連・臨時増刊号「医院経営



「そうだったのか！」実践的なアイデアが満載

桂氏は、採用募集時の広範囲の労使トラブルの具体例と傾向を示し、普段から注意すべき点を明らかにした。また、最近の医療機関での

支部の催物案内

北播支部 第28回支部総会

日時 6月30日(土) 14時~ 会場 加東市・滝寺荘 記念講演 支払基金における審査の現状と問題点 Pt2 講師 支払基金兵庫支部 南鉄雄氏 ※終了後、懇親会(無料)

明石支部 接遇講座

日時 6月30日(土) 14時30分~ 会場 あかし男女共同参画センター テーマ 接遇の基礎とクレーム対応のポイント 講師 人材育成コンサルタント 松田幸子先生 参加費 1000円 ※受講証を発行

西宮・芦屋支部 第32回総会

日時 7月21日(土) 14時~ 会場 西宮市勤労会館大ホール 記念企画 ウクライナの歌姫「ナターシャ・グジーコンサート」 ※終了後、懇親会(無料)

尼崎支部

第41回総会・創立40周年記念企画

日時 7月21日(土) 14時~ 会場 サンシビック尼崎 中央地区 会館大ホール 記念企画 「100,000年後の安全」上映会 ※終了後、懇親会(無料)

歯科保険請求



の金額を記載してください。

〈金属裏装ポンティック〉

Q3 金属裏装ポンティックは6番をへミセクションした小臼歯相当のケースでも請求できるか。

A3 大白歯部には使用できません。铸造ポンティックでの請求となります。

Q4 小臼歯の金属で覆われた咬合面に穴を開けて中にレジン詰めした場合、金属裏装ポンティックを算定できるか。

A4 算定できません。铸造ポンティックでの請求となります。

金属裏装ポンティックは前歯、小臼歯の咬合面を金属で铸造して他の部分にレジン歯をつける方法です。人工歯料が別に算定できます。なお、人工歯の代わりに硬質レジンで覆っても算定できます。

〈外来での高額療養費の現物給付化〉

Q1 70歳以上で高額療養費の現物給付を取り扱う場合は、限度額適用・標準負担額減額認定証(患者が事前に保険者に申請)が必要か。

A1 低所得者世帯に属する被保険者のみ認定証が必要です(下表参照)。

Q2 72歳の一般所得の患者で、4月分合計点数が8,306点だったが、一部負担金額欄が未記載であると返戻されたがなぜか。

A2 70~74歳の高齢受給者の一部負担金は特例措置で一般・低所得者について1割負担となっていますが、高額療養費は2割負担として計算するため、このケースは負担限度額の12,000円を超え該当します。該当する場合はレセプト右下の一部負担金額欄に実際に徴収した1割分

高額療養費の現物給付化(70歳以上の取り扱い)		負担限度額	
年齢と所得区分	外来窓口で確認する認定証等	個人単位	
高齢受給者 (70歳~74歳 後期高齢者除く)	低所得者Ⅰ(Ⅰ) 低所得者Ⅱ(Ⅱ)	保険証+高齢受給者証 +限度額適用・標準負担額減額認定証	8,000円
	一般所得者(Ⅲ)	保険証+高齢受給者証	12,000円※
	現役並み所得(Ⅳ)		44,400円
後期高齢者 (75歳以上、 65歳以上で一定 の障害のあるもの)	低所得者Ⅰ(Ⅰ) 低所得者Ⅱ(Ⅱ)	後期高齢者医療被保険者証 +限度額適用・標準負担額減額認定証	8,000円
	一般所得者(Ⅲ)	後期高齢者医療被保険者証	12,000円※
	現役並み所得(Ⅳ)		44,400円

注:太字()内のⅠ~Ⅳは限度額適用認定証等に表示されている区分
※2013年4月以降は特例措置期間の延長がなければ12,000円から24,600円に負担限度額が引き上がる

投稿員

認知症の方の過去

灘区 岡本 好司



認知症発症の引き金に、「思いだしたくない、早く忘れてしまいたい痛恨の過去」が関与しているように思うようになったのには理由がある。このことを周囲の方にお話しし、1995年の第9回保団連医療研究会でも話題提供をした。お前の思い過ぎだとか、牽強付会だと言った取りあっていただけなかったが、この思いは捨てきれない。

その一つは、ある老婦人に関する話で、戦時中、沖永良部島(おきのえらぶじま)から徳之島に渡る時、アメリカの潜水艦(?)に撃沈され、乳飲み児を背中に背負って、海を漂流された時の話である。長時間海に漂っていた時、一緒に浮いていた方から、背中の子どもはもう死んでいるから、背中から離せと言われたが不憫でならぬ、せめて陸に上がって埋葬しようと思って、長い間放せなかったという。しかし、疲労が増し、自分も死にそうになったので、断腸の思いでその子どもを海に放されたというのである。これが一生の悔いとして

彼女の心に重く圧しかかっているという話である。これには、慟哭(どうこく)の涙を禁じ得ず、こころも暗澹(あんたん)たる思いとなった。その他、ご主人の入院中、その弟さんから、兄の了解を得ているからと騙され、保証人の印をつかされて破産に追い込まれた奥さん。妻妾同居を強いられた奥さん。ご主人に内緒で金の相場に手を出して大損をし、顔が変形するほど殴られた奥さん。姑に虐められた過去を持つ戦争未亡人、等々。

現在、養護老人ホームで伺った話や、ご存命の方の話は書けないが、このことに関する情報は、全員ではないが、数多くの認知症のご家族から証言が得られている。認知症専門医で、このことを説明していただける先生がいてくだされば嬉しく思い、それが、認知症の予防につながる手掛かりになればありがたいと考えている。

認知症の方には消し去ってしまいたい過去があった。忘れてしまいたいから、記憶中枢の機能が低下し、忘れる病気になるのだという考えは捨てがたく、いまだに心の中で燻っている。

今は痛恨の思いを聞くことで、寝た子を起すようなことになってはいけないと思ひ、質問がしにくくなっている。出来事と対応の仕方とで結果が出るので、対応の仕方を変えれば良いが、この方達はそれが困難という面もある。

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民講座

歯を大切に健康が花咲いた町 「8020」運動発祥の地、兵庫県・南光町の経験から

日時 7月1日(日) 14時30分~ 会場 協会会議室
講師 元南光町長 山田兼三さん 参加費 無料
お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1809まで

核戦争を防止する兵庫県医師の会 設立30周年記念講演会

宇宙飛行士・秋山豊寛さんが語る 未来に残そう平和な地球

日時 7月22日(日) 14時~16時 会場 協会会議室
参加費 無料
お問い合わせは、☎078-393-1807 平田・有本まで

第81回評議員会決議

民主党政権の2年半の間、我々は医療崩壊からの脱却を求めて、小泉政権から続く「構造改革」路線の転換を訴え続けてきた。しかし、野田内閣をはじめ民主党が示したのは、選挙公約に対する裏切りと「構造改革」路線への回帰であった。

診療報酬改定は、先進国並みに医療費を増やすとの公約には程遠く、医療崩壊をくいとめるには困難なゼロ改定であった。改定内容も、在宅の受け皿を整備しないまま入院日数の短縮をめざすなど医療費抑制を目的としたものである。全国で「孤立死」が相次いでいるが、これは在宅医療や介護・福祉が社会的弱者に行き届いていないことを示している。我々は診療報酬を引き上げ、介護・福祉制度のあり方を抜本的に改善することを強く求めるものである。

政府が「税と社会保障の一体改革」と称している消費増税計画は、医療経営を一層悪化させるものである。そもそも政府の歳入に大きな穴をあけているのは、法人税を減税し、大企業優遇税制を継続している政府自身である。しかも、デフレ経済のもとでの増税は景気を悪化させる最悪の選択肢である。

野田首相が参加をめざすTPPは、国民皆保険を崩壊させるものである。TPPは、情報の非公開や、元にもどすことのできないラチェット条項、企業が国を訴えるISD条項など、国民主権そのものが蹂躪される国際条約である。我々は、TPPには参加しないことを強く求める。

兵庫県は、県立こども病院のポータル移行を方針決定したが、災害時に孤立化する可能性があり、県医師会などの反対意見も無視している。東日本大震災を教訓にし、沿岸地への移転計画は見直すべきである。

福島原発事故以来、政府は、原発を推進してきた原子力安全・保安院の改編も行わず、福島県が求めたこどもの医療費無料化を拒否し、被曝の実態把握もむざむざにしている。これらは、きわめて重大な政治の怠慢である。野田内閣は、電力需要が逼迫するとの試算をうのみにして、停止した原発を再稼働させようとしているが、国民が納得できる情報開示と、監視規制する民主的な体制の確立もなしに、再稼働することは断じて許されない。

我々は、社会保障を拡充させ、沖縄・普天間基地問題の解決を含め、憲法通りの国づくりをめざして、下記の要求実現に奮闘することを決意するものである。

- 一、診療報酬改定の不合理を是正し、大幅なプラス改定を実現すること。
- 一、消費税増税法案を撤回し、医療にゼロ税率を導入すること。
- 一、TPPに参加しないこと。
- 一、東日本大震災の医療費一部負担金免除措置を、復興が完了するまで延長し、全被災医療機関の再建に公的支援をおこなうこと。
- 一、停止した原発の再稼働を行わず、エネルギー政策を自然エネルギー中心に転換すること。
- 一、神戸市の先端医療産業都市計画を防災面から抜本的に見直すこと。
- 一、県立こども病院のポータル移行計画を中止すること。
- 一、保険でより良い歯科医療を実現するため、保険適用の範囲を拡大すること。
- 一、窓口負担を大幅に軽減すること。子どもと高齢者の窓口負担は無料にすること。
- 一、高すぎる国保保険料を引き下げ、短期保険証や資格証明書の発行をやめると。
- 一、平和憲法を守り、普天間基地の「国外移転」をアメリカに求めること。
- 以上、決議する。

2012年5月20日 兵庫県保険医協会第81回評議員会

保険診療 のてびき

—657—

(前号からのつづき)

下顎智歯抜歯は、日常頻繁に行われる処置でありながら、偶発症の多い処置でもある。抜歯に伴う下唇の感覚麻痺やしびれを予防するためには、十分な術前検討を行う必要がある。

埋伏している下顎智歯の位置や下顎管との関係について、通常パノラマX線写真が用いられる。しかし、パノラマX線写真は2次元データであり、しかも断層撮影のため、本当の立体的位置関係とは異なる場合も多く、十分な情報が得られにくい。

近年、歯科用コーンビームCT(CBCT)の普及に伴い、顎顔面領域でも立体的な高解像度の画像が得られるようになってきた。そこで、本研究ではパノラマX線写真で下顎智歯が下顎管に近接している症例に対し、CBCT検査を行い、両所見の関連性について検討したので報告する。

対象と年齢分布

研究対象は、2008年2月から2009年11月まで、当院を受診した患者さんのうち、パノラマX線写真で下顎智歯が下顎管に近接していると判断された症例で、CBCT検査を行った167例283歯である。

男性58例104歯、女性109例179歯で、左右側別の男女比は図1のとおり、平均年齢は29.7±11.1歳であった。患者の年齢分布は、20～29歳がもっとも多く153例、19歳までが34例、30～39歳が39例、40～49歳が32例、50～59歳が19例、60歳

歯科用コーンビームCT画像を用いた 下顎埋伏智歯根尖と下顎管との位置関係についての検討

—パノラマX線写真と歯科用CT画像における比較(下)—

三田市・大槻歯科医院 大槻 榮人先生
共同研究 奈良県立医科大学口腔外科学講座
大阪歯科大学高齢者歯科学講座

以上が6例であった。

下顎智歯と下顎管の位置関係

パノラマX線写真上で下顎智歯と下顎管の位置関係を詳しく調査するために、下顎智歯根尖と下顎管との距離について、天野らの報告に準じて分類した(6月5日付参照)。

図2に示すように、II bすなわち根尖が下顎管に重なっているが下顎管幅の2分の1以下のものが283歯中107歯、次いでII aの下顎管幅の2分の1以上重なっているものが81歯であった。智歯の根尖が、下顎管を超えて下方にあると判断されたIは22歯であった。

次に、下顎埋伏智歯抜歯の難易度との関連について調査した。図3に示すような吉増の分類の結果、Cが最も多く283例中123例、次いでBが89例、Dが43例であった。

パノラマ所見とCBCT所見の比較

パノラマX線写真は2次元のデータであり、パノラマ写真から智歯と下顎管との立体的位置関係は把握できない。そこで、コーンビームCT(CB MercuRay、日立製作所; CBCT)を撮影し、パノラマX線写真で得られる所見とCBCT所見との比較を行った。

下顎智歯と下顎管が完全に交叉しているIでは、パノラマ所見とCBCT所見は

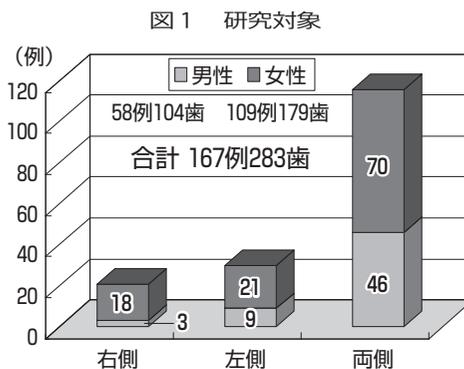
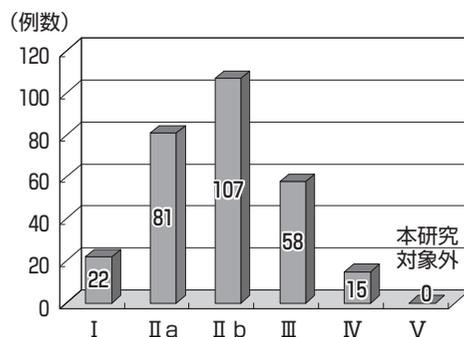


図2 下顎智歯根尖と下顎管の位置関係



86.3%一致しており、両者が完全に離れているIVでも一致率は73.3%と高かった。しかし、下顎智歯と下顎管が接しているIIIでは、一致率は44.8%と低く、両者が交叉しているII a、II bでは58.0%、66.4%であった(図4)。

次に、パノラマX線写真上で重要な白線の有無について調べた。白線は、下顎管の管壁を映すもので、白線の消失は智歯と下顎管との近接を示す所見となる。これをCBCT所見と照らし合わせてみると、パノラマ写真上で白線消失と判断された172歯中118歯は、CBCT上でも智歯根尖と下顎管が接触していることが認められ、一致率は68.6%であった。

しかし、パノラマで白線が確認できた111歯でも49歯は、CBCT上では根尖と下顎管は接触していると認められた(55.9%)。両者の所見についてx²検定を行うと、有意差が認められた。つまり、過半数はパノラマとCBCTの所見が一致するが、逆に半数近くはパノラマとCBCTの所見が異なることが明らかとなった(図



図3 難易度分類

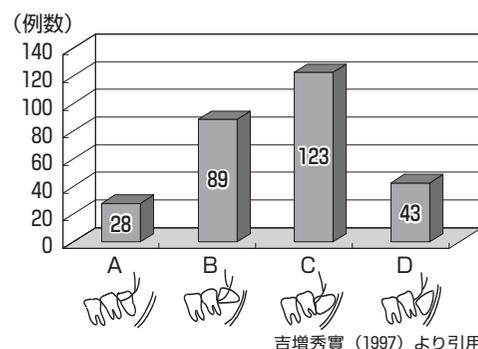


図4 パノラマ所見とCT所見の比較 1

パノラマX線所見における下顎智歯と下顎管との位置関係	CT所見		一致率(%)
	骨なし(接触)	骨あり(非接触)	
I 完全交叉	19	3	86.3
IIa 半交叉	47	34	58.0
IIb 1/2交叉	71	36	66.4
III 接触	26	32	44.8
IV 離れている	4	11	73.3
計	167	116	

細字はパノラマとCT所見が整合した症例数、太字は相違した症例数を示す(P<0.05有意差あり)

図5 パノラマ所見とCT所見の比較 2

パノラマX線所見における下顎智歯と下顎管との位置関係	CT所見		一致率(%)
	骨なし(接触)	骨あり(非接触)	
白線消失(接触・交叉)	118	54	68.6
白線あり(非接触)	49	62	55.9

細字はパノラマとCT所見が整合した症例数、太字は相違した症例数を示す(P<0.05有意差あり)

5)。

まとめ

以上より、パノラマX線写真で得られる所見とCBCTで得られる所見に、有意な違いがあることが明らかとなった。CBCTを撮影することにより、パノラマX線写真ではわからない下顎智歯根尖と下顎管の立体的関係の所見を得ることができる。

下顎智歯の抜歯を行う前に、これらの所見を参考に患者に対しインフォームド・コンセントを行う必要があると思われる。

「ご存知ですか 有床診療所」

—パンフ・チラシを
ご活用ください—



パンフB 5判8頁、
チラシA 4判両面
代金・送料無料

お問い合わせ、ご注文は、☎078-393-1803まで

医療事務の必須アイテム

『新点数・介護報酬Q&A
レセプトの記載』
(医科用)



定価 2000円
(送料込み)

第21回日常診療経験交流会

分科会的话题を募集します

年に一度、日常診療上の創意・工夫や研究内容を発表し交流する本年の日常診療経験交流会のメインテーマは「五感!六感!!ふれあう医療~感性を研ぎすまして」。医師・歯科医師・薬剤師、メディカルスタッフのみなさん、ふるって分科会へのお話提供にご応募ください。

日時 10月28日(日) 10時~17時

会場 神戸市産業振興センター9・10階

(JR、高速神戸駅から南へ徒歩7分~10分・ハーバーランド内)

企画 分科会発表、ポスターセッション、医科・歯科・薬科交流企画、分科会特別企画、心肺蘇生法実技講習会、情報ネットワークコーナー、趣味の展示会、プレ企画など。

お問い合わせ・お申し込みは、☎078-393-1803、FAX 078-393-1802まで

〈分科会的话题提供テーマ〉 締め切り 8月31日(金)

メインテーマ、日常診療、在宅・地域医療、病診・診診連携、医科・歯科・薬科の連携・工夫、東日本大震災関連など。掲示板によるポスターセッションも歓迎。400字程度の要旨、スライドの有無・枚数などをお知らせください。

分科会特別企画「今さら聞けない、教えて」質問テーマ募集

医科・歯科・薬科の連携へ、他科に聞いてみたいちょっとした質問をお寄せください。回答は当日行います。

【テーマ例】「こんなときどうする」「医科・歯科・薬科がお互いに知っておくべきこと」「薬の服薬指導、飲み合わせ」「日常診療の成功例・失敗例」「医療訴訟事例の紹介」「災害時の備え」など。

医科・歯科・薬科交流企画「抗凝固剤の最近の知見」(仮)

「抗凝固剤」の最近の話題について、医科、歯科、薬科それぞれの立場から話題提供いただき、質疑応答・フロア発言も含めディスカッションを行います。